

平成 26 年 重 大 災 害 一 覧 (安 全 関 係)
 神 奈 川 労 働 局
 確 定 版

番号	発生年月日	業種	起因物	発生概要
	発生時刻	被災者数 (被災程度)	災害の種類	
1	3月 13時頃	建設業 休業6名	化学設備 火災高熱物	重質油脱硫分解装置の定期点検工事中、反応塔内部のセグメントカップライザーを取り外すためグラインダー作業をしていた際に火災となったもの。
2	2月 13時頃	製造業 休業3名	電気設備 電気	工場建屋の変圧所内において、低圧側(200V)の電圧測定をしようとしていたところ、誤って高圧側(3300V)に絶縁抵抗計をあてたことによりスパークが生じ、当該作業に従事していた作業員1名の他、隣で手元作業等を行っていた作業員2名も顔及び両手を火傷した。
3	4月 9時頃	製造業 休業3名	乗物 交通事故	機械メンテナンスのため社有車で移動中、交差点で信号待ち停車していた時に後方から来た車両に追突されたもの。
4	6月 18時頃	建設業 死亡3名、休業4名	乗物 交通事故	化学工場の定修工事が終了し、7名でワゴン車に同乗して帰社途中、首都高速(横浜市内)でスリップして側壁に接触し、停車中の中型車後部に追突した。(現場所在地が県外のため、死亡件数は他局の件数となる。)
5	8月 16時頃	保健衛生業 休業3名	乗物 交通事故	客先へ車で向かう途中、信号の無い交差点を直進していた際に、右方向から一時停止せずに来たバイクが運転席右側に衝突し、ハンドルを取られて道路左側にある店舗の入り口の柱に激突したものの。
6	8月 6時頃	建設業 休業3名	乗物 交通事故	調査等に向かう途中、渋滞で停車していた際に、後方から来た大型貨物車が後続の車に追突し、玉突きにより追突されたもの。
7	9月 9時頃	建設業 不休3名	乗物 交通事故	工事用機械を普通貨物車に積んで首都高を走行中、車線変更をする際に運転を誤り右側側壁に衝突したものの。
8	9月 16時頃	建設業 休業1名、不休3名	乗物 交通事故	悪天候のため作業が中止となったので、現場から会社へ向け、首都高湾岸線を走行中に車の後輪がスリップして中央分離帯ガードレールに接触後、更に左側防音壁に衝突したものの。